

大津 新世界

指揮
篠崎靖男
@Takashi Fujimoto

ピアノ
久末 航
@Janine Guldener

2025年5月開催
エリザベート王妃国際
音楽コンクール第2位

「温故知新」～歴史に学び、未来に尽くす～」

数々の国際コンクールに入賞
大津ゆかりの指揮者とピアニストを迎え
大津の総力をあげて贈る祝祭(ガラ)コンサート!!

賛助出演

大津児童合唱団、大津ユージェントアンサンブル

管弦楽

大津ロータリークラブ75周年記念スペシャル・オーケストラ
関西フィルハーモニー管弦楽団に
大津市と滋賀県ゆかりの演奏家を加わり特別編成

司会: 中川悠紀



Program

第1部

ジョン・ウィリアムズ: 映画「スターウォーズ」メインテーマ
John Williams: "Star Wars" Main Theme

チャイコフスキー: ピアノ協奏曲 第1番 変ロ短調 作品23
Pyotr Ilych Tchaikovsky: Concert for piano and orchestra No.1 Op. 23
【ピアノソロ: 久末 航】

第2部

チャイコフスキー (編曲: 首藤健太郎):
バレエ「くるみ割り人形」より「花のワルツ」大津児童合唱団特別版
Pyotr Ilych Tchaikovsky (Arr. Kentaro Shuto): The Nutcracker Op. 71
"Waltz of the Flowers" Otsu Children's Choir Special Edition
【共演: 大津児童合唱団】

ブラームス: ハンガリー舞曲 第5番
Johannes Brahms: Hungarian Dance No. 5

ラヴェル: ラ・ヴァルス ー 無舞詩ー
Maurice Ravel: La valse - Poème chorégraphique

ドヴォルザーク: 交響曲 第9番「新世界より」第4楽章
Antonín Dvořák: Symphony No. 9 "From the New World" the fourth movement
【共演: 大津ユージェントアンサンブル】

2025.12.13(土) 14:30開演
(13:45開場)

滋賀県立芸術劇場
びわ湖ホール 大ホール

■入場料(全席指定・税込) ※6歳未満入場不可

創立75周年記念特別価格 3,000円

24歳以下 1,500円

■発売日

7月26日(土) 10:00

びわ湖ホール友の会優先発売7月24日(木) 10:00

※びわ湖ホール友の会優先発売期間中は電話・ネット受付のみ

■お問い合わせ

しがぎん経済文化センター Tel.077-526-0011 (平日9:30~17:00)

<https://www.keibun.co.jp/75th-concert>

■プレイガイド

びわ湖ホールチケットセンター Tel.077-523-7136

インターネット・チケット受付 <https://www.biwako-hall.or.jp/>

●チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード 302-070] ※セブンイレブン店内マルチコピー機で直接購入いただけます。

●ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード 54562] ※ローソン店内端末で直接購入いただけます。

●e+ (イープラス) <https://eplus.jp/> ※ファミリーマート店内で直接購入いただけます。

※6歳未満のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※やむをえない事情により出演者等が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※公演終了後のJR大津駅まで臨時バスが運行いたします。



大津ロータリークラブは2025年12月に創立75周年を迎えます。

「温故尽新 ～歴史に学び、未来に尽くす～」というテーマの元、記念コンサートを企画いたしました。

今年5月に世界三大ピアノコンクールの一つとされるエリザベート王妃国際コンクールで見事第2位入賞を果たした久末航をはじめ、数々の国際コンクールに入賞し国内外で活躍する大津ゆかりの演奏家、特別編成のオーケストラ、地元・大津で音楽に携わる青少年たちとをつなぐ「架け橋」をイメージした、まさに大津の総力をあげてのコンサートです。大津が世界に誇るアーティストの音楽にふれていただくとともに、一緒に舞台に立つ青少年たちには、この経験を踏まえて、大きな夢と希望を持っていただきたいという願いを込めています。「ガラ」には「祝祭」という意味があり、当クラブの記念というだけでなく、青少年や演奏を聴きに來てくださる皆さまの明るい未来にむけての「祝祭」でもあるのです。



指揮 篠崎靖男

YASUO SHINOZAKI,
CONDUCTOR

©Benjamin_Ealovega

京都市に生まれ大津市で育つ。桐朋学園大学にて指揮を山本七雄、飯守泰次郎の両氏に師事。1993年アントニオ・ベドロティ国際指揮者コンクール最高位。その後ウィーン国立音楽大学で研鑽を積み、2000年第2回シベリウス国際指揮者コンクール第2位を受賞し、ヘルシンキ・フィルを指揮してヨーロッパにデビュー。2001年より04年までロサンゼルス・フィルの副指揮者を務めた後、ロンドンに本拠を移し、ロンドン・フィル、BBCフィル、ボーンマス響、フランクフルト放送響、フィンランド放送響、スウェーデン放送響、ドイツのマグデブルク・フィル、南アフリカ共和国のKZNフィル(ダーバン市)、ヨハネスブルグ・フィル、ケープタウン・フィルなど各国の主要オーケストラを指揮。07年から14年7月までフィンランド・キュミ・シンフォニエッタの芸術監督・首席指揮者を務めオーケストラの目覚ましい発展を支えた。国内でも主要オーケストラに登場し、静岡交響楽団では、14年9月よりミュージック・アドバイザー、15年9月から18年3月まで常任指揮者を務め、「新しい静響」の発展に貢献した。滋賀では、00年に日野町市民会館わたくしホール虹にて室内管弦楽団オーケストラ・ムジカ・チェレステを立ち上げ第1回から指揮。11年から16年までびわ湖ホールで篠崎靖男プロデュース・オーケストラ・シリーズを開催。23年滋賀銀行創立90周年ガラ・コンサート、昨年末の平和堂財団設立35周年記念ガラ・コンサートでの熱演は記憶に新しい。桐朋学園大学音楽学部非常勤講師(指揮専攻)。

オフィシャル・ホームページ <http://www.yasuoshinozaki.com/>



ピアノ 久末 航

WATARU HISASUE,
PIANO

©Janine Guldener

大津市出身。今年5月に開催されたエリザベート王妃国際コンクールで第2位に入賞するなど、将来が囑望される実力派ピアニスト。2017年、伝統と格式あるミュンヘン国際音楽コンクールで第3位および委嘱作品特別賞を受賞して一躍国際的注目を集める。リヨン国際ピアノコンクール第1位および聴衆賞、メンデルスゾーン全ドイツ音楽大学コンクール第1位および特別賞、青山音楽賞では新人賞、バロックザール賞、青山賞の全てを受賞するなど多数の受賞歴を誇る。2024年6月には、第16回ゲザ・アンダー国際ピアノコンクールにて、ベートーヴェン賞、及びリスト・バルトーク賞を受賞。これまでに、AUDI 音楽フェスティバル、ヴェルツブルグ音楽祭はじめ、数々の音楽祭に出演。バイエルン放送交響楽団、シュツットガルト室内管弦楽団、東京都交響楽団、京都市交響楽団などと共演。コンツェルトハウス・ベルリン、紀尾井ホールで開催されたリサイタルはいずれも絶賛を博した。21年には、CD「ザ・リサイタル」をリリースし、「レコード芸術」誌で特選盤に選ばれる。滋賀県立膳所高等学校卒業後、渡独。フライブルク音楽大学、パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学にて研鑽を積み、それぞれ最優秀の成績をもって修了。辰巳晴生・美行、村上久仁子、田隅靖子、G.ミシヨリ、E.シュトロッセ、P.ドヴァイヨン、K.ヘルヴィヒ各氏に師事。平成25年度平和堂財団芸術奨励賞 音楽部門受賞、同財団海外留学助成者。2018/19年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。ベルリン在住。



大津児童合唱団 OTSU CHILDREN'S CHOIR

1953年にNHK大津放送児童合唱団として発足。その後NHK機構改革により「大津児童合唱団」と改名し、現在は小学生から大学生の約60名で活動している。毎年3月開催の定期演奏会をはじめ、滋賀県少年少女合唱連盟の「合唱祭」、大津市合唱連盟の「合唱のつどい」や他団体との交歓演奏会や、びわ湖ホール主催のオペラ出演など多くの演奏機会を得ている。レパートリーは、少年少女のための合唱曲、童謡、民謡、クラシックの名曲、ポピュラー曲、ミュージカルの他、滋賀県や琵琶湖を題材にしたオリジナル曲などがある。美しいものを美しいと感じ、人と人の輪を保つ中で、素晴らしいハーモニーを求めて日頃の練習に励んでいる。



大津ユーゲントアンサンブル OTSU JUGEND ENSEMBLE

「大津の地にジュニアオーケストラを!」という長年の夢がかない、1985年大津管弦楽団の附属団体として誕生した大津ジュニアオーケストラが創立40周年を機に発展的に解消し、新たな弦楽アンサンブル「大津ユーゲントアンサンブル」を結成。高校生以上のユース世代を中心に編成し、意欲的な若き弦楽器奏者達がお互いに刺激をあい、更なる音楽的高みを目指し成長するアンサンブルを目指す。この夏にはドイツへの演奏旅行、12月には大津ロータリークラブ創立75周年記念ガラ・コンサート賛助出演など、機動力を活かして積極的な演奏活動を展開する。



関西フィルハーモニー管弦楽団 KANSAI PHILHARMONIC ORCHESTRA

1970年に発足した関西を代表するオーケストラ。2020年に楽団創立50周年を迎えた。指揮者陣は2025年4月より、総監督・首席指揮者：藤岡幸夫、首席客演指揮者：鈴木優人、アーティストック・パートナー：リオ・クオクマン、名誉指揮者：オーギュスタン・デュメイ。また、永久桂冠名誉指揮者：飯守泰次郎(故人)。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々と企業に育まれた楽団として地域密着を重視している。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜8:30～)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアーを開催。2023年10月にも、ベルギー・フランス・ドイツの3カ国3都市を巡る2度目のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。